

新潟市水族館マリニピア日本海 SADO～世界に誇る自然と文化～

開催期間：2025年7月18日（金）～2026年5月29日（金）



【企画展の内容・目的】

■企画展示では、日本の島の中で沖縄本島につぐ大きさの佐渡島をテーマに開催。2024年に佐渡島の金山が世界文化遺産に登録されたことにより、その知名度はさらに上がっている。この機会に企画展示で海洋島である佐渡島の成り立ち、山・川・海などの自然環境、また漁労文化をテーマとすることで、海が与える環境や海洋島の特徴、海洋環境に適した漁具の発展などを理解することを目的に実施した。

■佐渡の写真展と道具展では、透明度の高い佐渡の海に繁茂する巨大な海藻や生息するコブダイを壁一面に写真展示を行うことで、海に対して親しみをいだくようにした。また同時に漁具を展示することで、魚の習性を利用した人の知恵と海洋環境への理解を促した。

■企画展示の内容をコンパクトにまとめたパネル展示を、新潟県立図書館のエントランスギャラリーで開催することにより、水族館とは違う来館者に、佐渡の魅力と海が与える環境変化を知ってもらうことを目的とした。

1. 企画展示の内容

- 開催期間：2025年7月18日（金）～2026年2月23日（月祝）
- 開催場所：新潟市水族館マリニピア日本海 企画展示室
- 入場者数：207,831人



新潟市水族館マリニピア日本海 外観



企画展示会場入り口



企画展示会場内の写真（1-①）

アニメーションを用いて佐渡の成り立ち紹介することで、年齢を問わず島の移動や隆起によって形成されたことを知ってもらうことを目的とした。



企画展示会場内の写真（1-②）

佐渡の成り立ちを4つの時代に分け、その時々の化石を展示することで、島の形とその時の海洋環境を知ることを目的とした。



企画展示会場内の写真（1-③）
佐渡の地図に成り立ちが現在の地形からわかる場所や岩などを紹介。海底から隆起してできた島であることが島内各所で見られることを知る。

1 は、「佐渡の成り立ち」のコーナーです。アニメーションを用いて佐渡島の誕生を紹介し、地殻の動きと地球規模の海洋変化などを伝え、3億年前から現在までの長い時間の変化を知ることができる。各時代の化石を展示することで、化石によって遠い過去の環境を伝えることができる。地図と写真を用いて、地形から島の誕生や海の世界を知ることができる。
このように佐渡の成り立ちでは、残されている化石や地形から過去の海洋環境を伝えることができた。



企画展示会場内の写真（2-①）
佐渡の山環境に関して、標本や写真を用いて紹介。特異性や見られる種など海洋環境と島地形によってできた特殊な環境であることを知ってもらった。



企画展示会場内写真（2-②）
植物や昆虫だけでなく、貝類や鳥類・哺乳類に至っても亜種や固有種が見られることを紹介。海によって隔てられている環境の特異性を知ってもらった。

2 は、佐渡の山をテーマに紹介した。佐渡山環境には、固有種や固有亜種が植物・昆虫・貝類・鳥類・哺乳類がいることを紹介。佐渡は海洋島であり、佐渡海峡によって本土と一度もつながっていないことによる。海が与える陸の生物への影響を伝えることができた。



企画展示内の写真（3-①）

佐渡のトキを取り上げ、生息に必要な環境と人とのかかわりを紹介。トキをはぐくむためには、エサが獲れる環境整備に多くの方々が関わり、手間を惜しまず行っていることを伝えた。また平野では、その特徴と固有種（サダガエル）が生息していることを紹介。



企画展示内の写真（3-②）

佐渡の川の特徴を紹介し、海洋島のため、通し回遊魚が多いこと、また淡水魚が少ないことなどを紹介。また短く急な河川が多いことから上流部に生息する魚類が下流でも見られるなど特徴を伝えた。

3は、主に佐渡の平地やそこに住む生物、川的环境を紹介した。一見すると海は関係なさそうであるが、淡水魚に与える影響を紹介。また佐渡を象徴するトキの生態を紹介し、海に隔てられている影響で佐渡にはサル・クマ・シカ・イノシシが生息しないことも重要な要素であることを伝えた。



企画展示内の写真（4-①）

佐渡の海の特徴、で発見された新種また深海生物などを紹介し、佐渡の海を知っていただいた。



企画展示内の写真（4-②）

佐渡で有名なコブダイを紹介し、生体の紹介と好む生息場所を紹介し、海の中の環境に興味を持ってもらった。



企画展示内の写真（4-③）

佐渡の浅場で見られる環境を再現し、背の低いお子様にもよく観察できるように心がけ、対馬海流によって運ばれてくる生物の解説を行った。



企画展示内の写真（4-④）

佐渡の海岸環境の紹介と海中を写真で紹介し、透明度が高く海藻が生い茂る様子を知ってもらった。

4 は、佐渡周辺の海洋環境と、佐渡で見つかった新種の生物や深海生物（エビカゴに入る生物など）を紹介した。佐渡の変化に富んだ海と、そこに生息する様々な生き物を通して海への理解を深めてもらえたと思う。



企画展示内の写真（5-①）

佐渡の漁労文化として、イカ釣りやサンマの手づかみ漁、磯ねぎと呼ばれる海藻や貝の採集など道具を交えて伝統的な漁を紹介した。



企画展示内の写真（5-②）

たらい舟とガラス箱、櫂や使用した漁具を展示し、なぜたらい舟が佐渡な漁具であるかなどを紹介した。

5は、佐渡で使用されていた漁具を通して、海洋環境と漁業のつながりや人の工夫を紹介した。今では考えられないような漁法を知ることによって過去の海の豊かさを知り、環境変化に目を向けてもらえるように工夫した。



企画展示内の写真（6-①）

出口にトキの骨格を展示しトキが暮らすために人が行ったことなどを紹介した。また今回の企画展示にご協力いただいた機関や人物、参考文献を記載。企画展示のアンケートをお願い。館内での展示を紹介した。

6.では、トキの骨格と剥製を観察してもらい、体のつくりやくちばしの構造など紹介した。また佐渡でトキが暮らしていけるために人が行っている策を伝えた。今回の企画展示でご協力いただいた多くの機関や研究者、参考文献を記載。また館内で見られる佐渡の生きものを発見してもらうための紹介を行った。合わせてアンケートにご協力いただくことで、企画展示全体を通して海に対して学んだことを改めて振り返っていただいた。

【来館者の声】

○日本海には、たくさんの生物や歴史を経て大切な（守りたい）と感じることがたくさんあったり、修学旅行では知らなかった生物や自然があってさらに詳しくなれて行きたいと思いました。

この生物をこれからも見たい（守りたい）と思いました。そのために海のごみを拾う、捨てないなど、海に自分たちができることがたくさんあると改めてわかりました。

○ごみを捨てないなど自分のできることを一つでもできるようにしたいと思いました。

○海の色々な大きさや生態系を持つ生きものがたくさんいるのを知って、海の広さを感じました。

○佐渡という海に四方を囲まれた環境から杉にしても生き物にしても生育しているという現状を知り、海の偉大さ学ばせていただきました。

2. 関連事業の内容

■シンポジウム SADO～世界に誇る自然と文化～

【開催日時】2025年10月4日（土）13:00～16:30

【開催場所】青陵大学 1号館 青陵ホール

【参加者数】34人

【実施内容・目的】

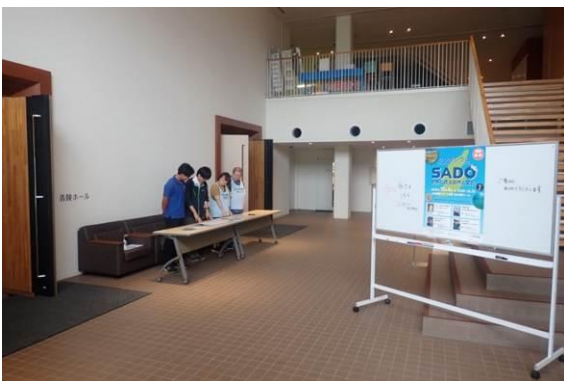
- 企画展示でご協力いただいた研究者の方々から、ご講演いただくことによりより深く、海洋島である佐渡を理解してもらうことを目的とした。
- 海で見つけた新種やダイビングで見られる生物の紹介を通して、海に関心を持ってもらい、海にじかに接する楽しさを知ってもらった。



開催場所の写真
会場全体の様子



講師控室の様子



当日受付の様子



講演中の要約筆記



講演の様子
(手話通訳付き)



パネルディスカッションの様子

企画展示にご協力いただいた研究者4名を招き、企画展示内では伝えきれなかった各分野の専門的な情報をご講演いただいた。具体的には、佐渡の成り立ち、海洋島である佐渡の植物、海の新種生物、冬のダイビングで見られる生物と写真や映像などを用いて詳しく解説を指定いただき、また先生方に会場から質問にお答えいただくパネルディスカッションを行った。佐渡島の特徴を知るとともに、地形による海洋環境の違いや海が与える陸上環境への影響など、海に対する学びになったと考える。

【来館者の声】

- 海中の生物は普段身の回りから程遠い場所にいるので、なかなか興味を持ちづらい。今回、初めて聞くような生物が多く、また特にキングギドラシリスなどはとても変わった生態をしていて、海には思っていた以上に未知の面白い世界が広がっているのだと感じた。
- 何気なく見ている海に小さな知らない生き物がたくさんいる事、自然を大事にしないといけない事がわかりました。
- 海というと魚ばかり意識しがちだが、色んな生き物がいることを再確認できた後、海だけでなくあらゆる視点から環境のことを考えるきっかけになった

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

■SADO～世界に誇る自然と文化～ガイドツアー

【開催日時】2025年8月2日、9月6日、10月5日、11月1日、
12月6日、1月3日、2月7日

【開催場所】新潟市水族館マリニピア日本海 一階企画展示室

【参加者数】48 人

【実施内容・目的】

- 企画展示内のエリアを3つに分けてガイドツアーを行った。エリアを絞ることで紹介しきれていない詳しい情報を伝え、参加者を絞ることでより丁寧な説明を行うことで、海や生物に対して理解を深めることを目的とした。
- 来館者の反応に合わせた解説や、質問に答えることによって、より知的好奇心を掻き立て積極的に展示を見てもらうことを目的とした。



集合・レクチャーの様子



佐渡の海 新種の解説



佐渡の海 深海の説明



佐渡の海 海岸の説明

企画展示内を担当者が詳しく説明をすることで、より深く知ってもらうことができた。また参加者の疑問や質問にお答えすることを通し、より探求心が沸くように心がけた。このことにより、企画展示を楽しみながら海について学ぶ機会となったと思う。

【来館者の声】

- 新潟の海の流れや地形に少し詳しくなった
- 海や川や島にそれぞれいる固有種を守ることが大事だと思いました
- かつての漁法・漁具が、サンマやイカなど豊富だった資源量や高い透明度ありきで存在した、高度に洗練された特徴的なものだと思ってとても興味深かったです

■水族館職員が語る 水族館での魚、カニ、イルカの研究

【開催日時】2025年11月29日（土）13:00～15:30

【開催場所】新潟市水族館マリニピア日本海 2階団体休憩室

【参加者数】45 人

【実施内容・目的】

- 水族館職員が行ったスズメダイ、スナガニ、カマイルカの研究について紹介した。スズメダイに関しては館内で繁殖育成できたこと、身近な生物であるスナガニでは育成の難しさや未だに分からないこと、カマイルカは座礁し保護・治療・放流した一連の活動をスライドや動画を交えて講演した。これにより水族館職員がどのように生物と向き合い、どんなことを研究しているのか、また、それによって何がわかり何がわからないかなどを伝えることで、海に対して関心を持つことを目的として実施した。



会場の様子



受付の様子



講演の様子（手話通訳・要約筆記あり）



実物観察の様子

水側管職員の生物に向き合う姿勢とどのように研究しているかを通して、飼育できる環境と技術を持って海生きものを育てることの難しさ、生物の不思議さを伝えられたのではないだろうか。よく見られる生物でも、人の手で育てられない、生態がわからないといった種はたくさんいることを、改めて感じたのではないだろうか。海の不思議さと多様さが伝えられた講演会であったと思う。

【来館者の声】

- 海に返すための保護しかできないこと、保護できる施設がない場合は放置せざるを得ないこと、人間が海の環境を守るため、厳しいルールですが、必要なこと。ますます海に興味が湧きました。
- 多くの生命が「海」との関わりを持ちながら成長・繁殖・生活の場としていることを再認識させられた、良い機会になりました。
- 海を身近に感じた。

■SADO～世界の誇る自然と文化～写真パネル展示

【開催日時】2025年7月18日（金）～ 2月23日（月祝）

【開催場所】エントランススペース・地下大水槽脇通路など

【参加者数】345,051 人

【実施内容・目的】

- 企画展示室内では文面で紹介している佐渡の天然杉や海底の海藻林を等身大に近い写真を壁一面に展示し、大きさや透明度、などを疑似体験してもらうことを目的とした。
- 佐渡で見られる生物が展示されている水槽に目印をつけ、館内観覧をしながら、佐渡の環境や生物について関心を持つことを目的とした。



エントランスの天然杉



地下通路の佐渡の海藻林



地下通路のコブダイ



地下通路のシラツケ（漁具）



個水槽の佐渡に生息する生物



個水槽の佐渡に生息する生物

天然杉や海藻林の写真展示は、その大きさや環境を疑似体験できたのではないだろうか。また個水槽の生物紹介パネルは、企画展示会場では展示できなかった生物やより大きな水槽内での展示を見ることで、自然界での様子をイメージしやすかったと思う。より環境や生物に対して興味を持っていただけるきっかけになったと思う。

【来館者の声】

○海は人にとって必要不可欠、大切に共存できるよう暮らしていきたい

○きれいな海、守りたいと思いました。これからもずっと写真や深い海の様子をリアルに学びたいです。

○海と言っても同じ環境ではなく、場所によってちがいがあること。それぞれの環境とそこにいる生物たちを大切にしたいと思った。

■海岸清掃～海を流れるもの～

【開催日時】①2025年4月26日（土）、②2025年5月24日（土）、
③2025年7月13日（日）、④2025年9月15日（月祝）

【開催場所】①新潟市西蒲区間瀬 田ノ浦海岸、②～④新潟市中央区関屋浜

【参加者数】①71人 ②200人 ③66人 ④47人

【実施内容・目的】

- 一般市民と共に海岸清掃活動をすることにより、生物の生息する環境や、環境に影響する海ゴミの問題について多くの方に考えてもらう機会を作る。海ゴミは全て人由来であり、私たちの生活を見直せば減らしうるものであることを再認識する。
- 開催はSNS、Webなどで広く募集し、多くの人に企画展示と身近な環境、海ゴミの現状について知ってもらうことを目的とする。



① 田ノ浦海岸清掃の様子



② 関屋浜清掃の様子



③ 関屋浜清掃の様子



④ 関屋浜清掃の様子

身近な海岸でもたくさんのごみがあることを再認識し、自分たちができる海を守る活動を肌で感じてもらったのではないだろうか。多くの方々にご参加いただき、ごみの話や海の話を通して、より海に親しみをもち、環境を守る活動の推進ができたと考える。

【来館者の声】

○幼児がゴミ拾いを兼ねて海に行き、海と海洋ごみについて勉強できる機会が得られる素晴らしい取り組みと感じました。また参加したいと思います。

○毎回参加していますが、今回は子や孫も一緒に参加し海を大切にする気持ちを広め伝えることができ良かったと感じました。

○私達の少しのポイ捨てなどが、溜まりに溜まって海の生物に影響が出ていること、そしてこれらの魚を通じ、私達の身体にも入ってしまうということを学びました。これらの経験を踏まえ、ポイ捨てをしない事はもちろん、友人などにも教えたいと思います。

■SADO～世界の誇る自然と文化～出張パネル展示

【開催日時】2026年5月13日（水）～ 5月29日（金）

【開催場所】新潟県立図書館 エントランスギャラリー

【参加者数】約13,500人（来場者数より算出）

【実施内容・目的】

- SADO～世界に誇る自然と文化～の冊子を活用したパネルを作成して、新潟県立図書館のエントランスギャラリーにて出張展示を行う。これにより、水族館とは異なる来館者層に、佐渡の魅力や環境とともに海について知っていただく機会とすることを目的とする。



入口側のタイトルパネル



山・川・平野・海・漁労文化のパネル



佐渡の成り立ち・参考文献・協力者のパネル
アンケート・冊子の配布

企画展示で作成した冊子を基にしたパネル展示を行った。またタイトルの横に、本展示の概要説明と冊子の配布をご案内した。標本等を展示できなかったため、来館者に興味を持っていただけるか不安があったが、開催から6日間で冊子200部、最終的に約400部をお持ち帰りいただいた。撤収の際、来館者から企画展示の趣旨の問い合わせとともに、大変よくまとまっていると直接ご意見をいただいた。開催の目的である水族館とは異なる来館者層に情報発信できたと考える。

【来館者の声】

- 佐渡の海をもっと知りたくなったので、また来て拝見させていただきます。海は奥が深いと思った、佐渡の海を知る良いきっかけになった。
- 海はいい！ながめるだけでも落ち着く
- 海をたいせつにしたい、しんかいぎょも学びました

【事業全体のまとめ】

今回の海の学びサポート事業を活用したことによって、佐渡の成り立ちのアニメーションを制作、超低温水槽を作製し深海生物の生体を展示、佐渡への調査で採集した川や海の生体を展示、またトキの本剥製や骨格標本をはじめ様々な漁具や標本類を借用できた。そのおかげで多くの方に分かりやすく、また本物を見ていただきながらの紹介により、「海にはまだまだふしぎなことがあるんだなと感じた」、「すべて手作りの時代に海のことを考えて共存している姿を学びました」、「地形の成り立ちから、そこで育まれた生態系についてまで、わかりやすく展示してあり、とても勉強になりました。閉鎖された環境でそれぞれの生物が固有の進化を遂げたのだということがとても面白かったです」などのご意見をいただくことができた。

付帯事業では、シンポジウムや写真展示、解説、講演会、出張パネル展示、海岸清掃と、様々な方法で発信することにより、興味の偏りや知識の多少にかかわらず多くの方々の「海の学び」につながったと考える。

また今回ご協力いただいた多くの施設様や企画展示をご覧になった方々から、事業終了後に作成したパンフレットの譲渡依頼や、出張展示パネルの貸し出し希望などをいただいている。今回の事業は今後も多くの方々や場所で、海の学びに活用される予定である。

3. 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所・演習林	情報提供、標本貸し出し、講演
2. 佐渡博物館・両津郷土博物館	情報提供、標本貸し出し、資料提供
3. 佐渡国小木民俗博物館	情報提供、漁具の貸し出し、写真提供
4. 佐渡自然塾	アニメーション監修、標本貸し出し、講演
5. ダイビングサービス F.WAVE	潜水補助、情報提供、写真提供、講演
6. 新潟県立図書館	パネル展示会場の貸し出し
7. 佐渡ジオパーク	資料提供

4. 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. TV(TeNY テレビ新潟) 新潟県	タワイド新潟一番「週刊マリニピア通信」7/18、9/26、1/16、2/20 Oh! すずめ TeNY 9/4 TeNY とくプラ 7/27
2. TV(BSN 新潟放送) 新潟県	ゆうなびプラス見つけタネ 8/1 BSN インフォメーション 10/9
3. TV(UX 新潟テレビ 21) 新潟県	ランランUX 9/13
4. TV(FCT 福島中央テレビ) 福島県	トレンド☆ナビ 7/16
5. TV(TUF テレビユー福島) 福島県	ステップ 7/28 ワンステップ 7/30
6. TV(KFB 福島放送) 福島県	シェア! 7/15、8/1、8/12
7. TV(FTV 福島テレビ) 福島県	サタふく 7/12、8/2
8. TV(SAY さくらんぼテレビ) 山形県	さくらんぼテレサーチ 7/18
9. TV(YBC 山形放送) 山形県	あっぷるタイム 7/12、8/8
10. TV(TUY テレビユー山形) 山形県	お得情報ぴぴっとたいむ 7/15 どよーびぽんち 8/2
11. ラジオ(BSN 新潟放送) 新潟県(生中継)	3時のカルテット 7/12～7/31 スナッピー中継 7/24
12. 市広報誌(市報にいがた) 新潟県	7/20
13. 新聞(朝日新聞) 東日本	6/29
14. 新聞(信濃毎日新聞) 長野県	新潟・北陸・北信濃トラベルガイド 6/29
15. 新聞(上毛新聞) 群馬県	夏の新潟観光特集 7/4
16. 新聞(山形新聞) 山形県	夏の新潟観光特集 7/5
17. 新聞(福島民友) 福島県	夏の新潟観光特集 7/19
18. 新聞(福島民報) 福島県	夏の新潟観光特集 7/19

以上